



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社浅沼組 上場取引所 東  
 コード番号 1852 URL http://www.asanuma.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅沼 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 八木 良道 (TEL) 06(6585)5500  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	32,343	29.6	1,161	483.9	1,204	396.2	789	308.6
2019年3月期第1四半期	24,954	△17.7	198	△85.4	242	△82.5	193	△79.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 658百万円(1.6%) 2019年3月期第1四半期 648百万円(△51.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	97.91	—
2019年3月期第1四半期	23.06	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	92,766	36,892	39.6
2019年3月期	102,000	37,466	36.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 36,704百万円 2019年3月期 37,281百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	153.00	153.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	208.00	208.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,000	3.8	1,850	21.2	1,800	20.4	1,170	15.6	145.12
通期	134,700	△0.7	6,270	10.0	6,160	9.7	4,180	0.0	518.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	8,078,629株	2019年3月期	8,508,629株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	16,549株	2019年3月期	446,382株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	8,062,139株	2019年3月期1Q	8,376,992株

(注)2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
3. 補足情報	P. 9
四半期個別受注の概況	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出関連企業における輸出の伸び悩みに伴う収益の下振れがあった一方、内需については良好な雇用・所得環境の下支えもあり個人消費は緩やかな回復がみられるなど底堅く、企業収益の足踏み感はあるものの緩やかな拡大基調での推移となりました。一方で、米中の貿易摩擦の拡大に伴うわが国経済への下押し圧力による景気の下振れリスクには注意が必要と思われれます。

当社グループの主たる事業である建設業界におきましては、公共建設投資は底堅く推移しており、民間建設投資については、消費税増税を見据えた前期末までの駆け込み受注の反動の影響もあり、弱含みでの推移であります。工場の建て替え需要の拡大など設備投資は堅調さを維持しております。しかしながら、高い水準の手持工事量の状況下、慢性的な技能労働者不足や建設資材等調達価格の上昇には注意を払う必要があります。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は179億7千4百万円で、前年同期比32.8%の減少、売上高は323億4千3百万円で前年同期比29.6%の増加、売上総利益は30億8千9百万円で前年同期比47.9%の増加となりました。

営業利益につきましては11億6千1百万円（前年同期比483.9%の増加）となりました。

経常利益につきましては12億4百万円（前年同期比396.2%の増加）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては7億8千9百万円（前年同期比308.6%の増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (建 築)

受注高は149億6千7百万円(前年同期比34.4%減)、売上高は266億8千2百万円(前年同期比30.4%増)となり、セグメント利益は26億1百万円(前年同期比62.2%増)となりました。

#### (土 木)

受注高は30億6百万円(前年同期比23.5%減)、売上高は53億6千9百万円(前年同期比27.7%増)となり、セグメント利益は4億1千9百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

また、「その他」の事業については、売上高2億9千2百万円(前年同期比1.3%増)、セグメント利益2千1百万円(前年同期比29.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.2%減少し、762億5千6百万円となりました。これは、工事代金の回収が進み、受取手形・完成工事未収入金等が103億8千1百万円減少した一方、債務の支払も進んだこと等により、現金預金が30億5千5百万円の増加に留まったことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、165億9百万円となりました。これは、投資その他の資産の投資有価証券が3億5千2百万円減少、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が2億1千1百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて9.1%減少し、927億6千6百万円となりました。

#### (負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.3%減少し、428億1百万円となりました。これは、支払手形・工事未払金等が61億3千9百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、130億7千2百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が2億2千万円減少、長期借入金が8千7百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて13.4%減少し、558億7千3百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、368億9千2百万円となりました。これは、配当金の支払い12億3千3百万円やその他有価証券評価差額金が2億4千7百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績及び足元の状況を鑑み、2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、現時点で2019年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	23,545	26,600
受取手形・完成工事未収入金等	54,271	43,890
未成工事支出金	1,942	1,759
その他のたな卸資産	49	42
未収入金	4,877	3,215
その他	259	761
貸倒引当金	△21	△13
流動資産合計	84,924	76,256
固定資産		
有形固定資産	5,333	5,268
無形固定資産	886	957
投資その他の資産		
投資有価証券	9,442	9,090
その他	2,093	1,874
貸倒引当金	△681	△681
投資その他の資産合計	10,855	10,283
固定資産合計	17,075	16,509
資産合計	102,000	92,766
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	30,125	23,985
短期借入金	2,790	2,791
未払金	2,028	924
未払法人税等	1,790	185
未成工事受入金	6,903	6,636
完成工事補償引当金	501	578
工事損失引当金	4	18
その他	7,002	7,682
流動負債合計	51,147	42,801
固定負債		
社債	650	650
長期借入金	8,253	8,166
退職給付に係る負債	4,342	4,122
その他	139	133
固定負債合計	13,386	13,072
負債合計	64,533	55,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,614	9,614
資本剰余金	2,166	2,165
利益剰余金	23,616	22,065
自己株式	△1,149	△42
株主資本合計	34,248	33,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,334	3,087
為替換算調整勘定	△7	△2
退職給付に係る調整累計額	△293	△184
その他の包括利益累計額合計	3,032	2,900
非支配株主持分	185	187
純資産合計	37,466	36,892
負債純資産合計	102,000	92,766

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	24,666	32,051
その他の事業売上高	288	292
売上高合計	24,954	32,343
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	22,656	29,029
その他の事業売上原価	209	224
売上原価合計	22,866	29,254
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	2,009	3,021
その他の事業総利益	79	67
売上総利益	2,088	3,089
<b>販売費及び一般管理費</b>	1,889	1,928
営業利益	198	1,161
<b>営業外収益</b>		
受取利息	23	12
受取配当金	64	62
為替差益	32	—
持分法による投資利益	8	0
業務受託料	—	42
その他	1	20
営業外収益合計	131	138
<b>営業外費用</b>		
支払利息	51	32
為替差損	—	32
支払保証料	21	14
その他	14	16
営業外費用合計	87	96
<b>経常利益</b>	242	1,204
<b>特別利益</b>		
その他	0	0
特別利益合計	0	0
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	242	1,204
法人税、住民税及び事業税	25	141
法人税等調整額	24	271
法人税等合計	50	413
四半期純利益	192	790
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	193	789



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	192	790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	505	△247
為替換算調整勘定	—	5
退職給付に係る調整額	△49	109
その他の包括利益合計	456	△131
四半期包括利益	648	658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	649	656
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## 四半期個別受注の概況

## ① 個別受注実績

	受注高	
2020年3月期第1四半期累計期間	17,203百万円	△35.7%
2019年3月期第1四半期累計期間	26,746	△10.3

(注) %表示は、対前年同四半期増減率を示す。

## (参考)受注実績内訳

区 分		2019年3月期 第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)		2020年3月期 第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)		比較増減		
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	
建設事業	建築	官庁	4,280	16.0	1,738	10.1	△2,541	△59.4
		民間	18,535	69.3	12,454	72.4	△6,081	△32.8
		計	22,816	85.3	14,193	82.5	△8,622	△37.8
	土木	官庁	2,135	8.0	1,160	6.7	△975	△45.7
		民間	1,795	6.7	1,850	10.8	54	3.1
		計	3,930	14.7	3,010	17.5	△920	△23.4
	合計	官庁	6,415	24.0	2,898	16.8	△3,516	△54.8
		民間	20,331	76.0	14,305	83.2	△6,026	△29.6
		計	26,746	100	17,203	100	△9,542	△35.7

## ② 個別受注予想

	受注高	
2020年3月期予想	133,000百万円	△13.5%
2019年3月期実績	153,717	10.8

(注) %表示は、対前年同期増減率を示す。

## [個別受注実績に関する定性的情報]

当第1四半期累計期間の個別受注実績は、前年同期比35.7%減の172億3百万円となりました。消費税増税を見据えた前期末までの駆け込み受注の反動が主要因と考えられ、土木部門の民間以外の分野では受注額が減少しております。